



— いい音、浦安から —  
**J:COM** 浦安音楽ホール  
 URAYASU CONCERT HALL

カミーユ・トマ チェロ・リサイタル

# Camille Thomas

## Cello Recital 6/29 <sup>2022</sup> [Wed]

開演 19:00/ 開場 18:30 J:COM 浦安音楽ホール コンサートホール



Camille Thomas  
Cello

[出演]

カミーユ・トマ(チェロ)  
Camille Thomas, Cello

萩原麻未(ピアノ)  
Mami Hagiwara, Piano

Mami Hagiwara, Piano

[Program]

ラヴェル：2つのヘブライの歌より 第1曲「カディッシュ」

M. Ravel: 2 Melodies hebraïques

グリーグ：チェロ・ソナタ イ短調 Op.36

E. Grieg: Cello Sonata in A Minor, Op. 36

ラフマニノフ：チェロ・ソナタ ト短調 Op.19

S. Rachmaninov: Cello Sonata in G Minor, Op. 19

[ご予約・お問合せ] **047-382-3035**

[一般発売]

4/16(土)9:00 (発売初日はWEB、電話のみ)

一般5,000円 **全席指定**

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

[浦安市民優待チケットのご案内]

4/16(土)9:00 電話、窓口にて受付(発売初日は電話のみ)

4,000円 **全席指定** | 先着150席限定

※お申込みの際にご住所を確認させていただきます。

※WEBからはお申込みいただけません。

J:COM浦安音楽ホール

開館時間 午前9時～午後10時(受付時間:午前9時～午後9時)

休館日 第2・第4火曜日(祝日は開館)

〒279-0012 千葉県浦安市入船1丁目6番1号 URL <https://www.urayasu-concerthall.jp/>



日本音楽財団  
NIPPON MUSIC FOUNDATION



主催：浦安市、日本音楽財団  
助成：日本財団



©Franck Socha



## カミーユ・トマ(チェロ) *Camille Thomas, Cello*

1988年パリ生まれ。4歳でチェロを始め、2006年にベルリンへ渡り、ハンス・アイスラー音楽大学でシュテファン・フォルクとフランス・ヘルメルソンに学ぶ。その後、フランツ・リスト・ワイマール音楽大学でウォルフガング・エマヌエル・シュミットに師事した。これまでにパーヴォ・ヤルヴィ、ミッコ・フランク、マルコ・スーストロ、ダレル・アン、ケント・ナガノ、ステファヌ・ドゥネーヴと共演した他、ブレーメン・ドイツフィルハーモニー管弦楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ルツェルン音楽祭弦楽合奏団、ボルドー・アキテーヌ国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニック等、数々のオーケストラと共演している。2017年、女性チェリストとしては初めてドイツ・グラモフォンと専属アーティスト契約を結び、2020年6月には2枚目のアルバム「Voice of Hope」が発売された。このアルバムにはトルコの作曲家ファジル・サイが彼女のために書いたチェロ協奏曲「Never Give Up」が収録されている。2019年9月より日本音楽財団保有ストラディヴァリウス1730年製チェロ「フォイアマン」を使用している。

## ストラディヴァリウス1730年製チェロ「フォイアマン」

### *Stradivarius 1730 Cello "Feuermann"*

アントニオ・ストラディヴァリ(1644~1737)が製作したチェロのうち、現存するのは約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。世界的に活躍した名チェロ奏者のエマヌエル・フォイアマン(1902~1942)が1939年から亡くなるまで使用したことから、この名前と呼ばれている。



## 萩原麻未(ピアノ) *Mami Hagiwara, Piano*

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。第27回パルマードー国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。

文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。

日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を続けている。これまでに、国内主要オーケストラのほか、スイス・ロマンド管、フランス国立ロワール管、南西ドイツ放送響などとも共演を重ねている。また、フランスのラ・ロック・ダンテロンほか、様々な音楽祭にも招かれている。

広島市民賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、第46回東燃ゼネラル音楽賞(奨励賞)など多数受賞。

